

空き家活用モデル事業について

1 要旨

令和4年度に、実施予定の空き家活用モデル住宅について報告する。

2 事業目的

本市が、自ら率先して空き家の活用を推進することで、民間における同様の取組の拡大を図るとともに、空き家を活用した定住促進により地域の活性化を図る。

3 経過

平成30年度、令和元年度と子育て世代を対象に、次の2物件を改修・貸出を実施。

(1) 第1回 空き家活用モデル事業（能美町鹿川・民間空き家）

平成31年4月に抽選会を実施、同年4月入居。継続入居中

(2) 第2回 提供型空き家活用モデル事業（沖美町畑・旧沖駐在所）

令和2年9月入居。継続入居

(3) 令和2、3年度は、良質な物件確保が確保できず、事業を見直し

4 見直し内容

(1) 国庫補助（空き家総合支援事業）の利用

補助要件：10年以上移住者が利用し、地域活性化に資するもの

(2) 物件に応じ対象世帯・賃借料を決定

子育て世帯 → 移住者世帯

5,000円/月（一括60万円） → 上限25,000円（一括300万円）

(3) 広報戦略の充実

入居者の記事掲載や事業収支等について宅建事業者等へ説明

5 物件の決定

令和3年中に公開募集で応募のあった物件（3戸）について、前回同様の選考基準で内部検討した結果、間取りに余裕があり、海が見える（移住希望者に人気）物件を令和4年度の空き家活用モデル事業対象住宅と決定した。（詳細は別紙参照）

6 今後の予定

令和4年 3月末迄 予算成立後 所有者と修繕箇所の調整

令和4年 4～9月 改修工事（設計・実施）

令和4年 11～12月 入居者募集・決定

令和5年 1月 入居（予定）